

石巻市家庭教育支援チーム 「スマイルエンジェル」



1 設立の経緯

石巻は東日本大震災で大きな被害を受け、子育て環境にも大きな影響がありました。親子の居場所作りや心のケア、コミュニティの再構築が急務となったことを背景に、子育てサポーターやサポーター・リーダーが中心となって平成23年9月から家庭教育支援活動を始め、行政や子育て支援団体等からの協力により活動の幅が広がり、継続的に支援を続けています。

2 チームメンバー

宮城県教育委員会主催の養成講座を修了した子育てサポーターや子育てサポーター・リーダーを中心に、一般ボランティアの協力を得て、年間を通して幅広く活動しています。様々な年齢層のメンバーが互いに支え合いながら意欲的に活動しています。

3 活動内容

(1) いしっこクラブ(子育てサロン)

親子の交流及び心のケア、育児相談の場として月2回(第1・第3金曜日)、年間20回程度、公民館を会場として開催し、手遊びや読み聞かせ、ダンス、リトミック、おもちゃ作りなどを行っています。参加者の要望に応じて水遊び等も実施します。年間親子合わせて約700人(親子約300組)が参加しています。スタッフを身近な存在として感じ、気軽に育児相談できるような雰囲気づくりを大切にしています。



(2) 親学び講座① ノーバディズ・パーフェクト講座(NPO団体と共催)

子育てのスキルアップ及び受講者のエンパワーメントの向上、新しいコミュニティの形成を目的として年間3~4シリーズ(1シリーズ8週連続)開催しています。

受講者の自主性を尊重したワークショップ形式の講座で託児付きです。託児は家庭教育支援チームが担当します。

講座・託児ともに好評で、受講修了後に家庭教育支援チーム員や子育て支援団体等で活躍する保護者も増えてきています。



(3) 親学び講座② 「親のみちしるべ」講座

未就学児から小学生までの保護者を対象として、宮城県教育委員会が作成した「親のみちしるべ」プログラムを使用した子育てワークショップを年3回程度開催しています。ファシリテーターと託児スタッフを支援チーム員が担当します。「しつけ」「上の子の赤ちゃんがえり」「子どもの気持ちに寄り添う」など多様なテーマで毎回活発に意見交換が行われています。



(4) 家庭教育学級への講師派遣

幼稚園や小学校から派遣依頼を受け、「一日入学」において新入生の保護者を対象に「小学校入学に向けての悩みや不安」をテーマとしてワークショップを開催しています。ファシリテーターは子育てサポーター・リーダーが務めます。入学前に保護者同士が顔なじみになります。



(5) 家庭教育支援チーム研修会

次の内容で研修会を年3回実施しています。

- ・「いっこクラブ」の計画・準備等
- ・手遊び・ダンス等のスキル研修
- ・「託児マニュアル」の内容検討

チーム員同士の交流を深め、お互いに理解し合う貴重な時間でもあります。



(6) 託児支援活動

「子育てをしていると子育てに関する講座や研修会等に参加できない」という保護者の声に応え、子どもから離れて集中して講座や研修会に参加してもらうことをねらいとして、託児支援活動を実施しています。大切なお子さんをお預かりするので、独自に「託児マニュアル」を作成し「託児連絡ノート」で情報を共有しながら活動しています。



成果 市の子育て支援活動の活性化や人材育成に一定の成果
課題 チーム員による自主的な活動の促進及び支援体制の強化

(連絡先：石巻市教育委員会生涯学習課 0225-95-1111 内線 5053)